

■ 2018年3月期 決算説明会 質疑応答要旨

広告収入関連

Q：足元のスポット収入が厳しいと聞かすが、最新状況と今後の見通しは？

- ▶ 足元4・5月は厳しいスタートとなっており、第1四半期はあまりいい材料がない。
- ▶ 年間のスポットは前期比101.2%を想定しており、W杯後の回復を期待している。

Q：4月から導入されたスポット取引の新指標について、具体的な影響はあるか？

- ▶ 具体的な影響はない。

制作費・編成関連

Q：18年度の制作費予想は905億円。今後の制作費の推移はどうなるのか？

- ▶ スポーツ放映権の契約が複数年にわたることもあり、今後の制作費も900億円前後での推移となることが想定される。

Q：サンデーステーションの放送時間を日曜夕方に戻した狙いは？

- ▶ もともと日曜夕方で結果がでていたことを踏まえ、速やかな編成判断をおこなった。

インターネット関連

Q：「AbemaTV」のアクティブユーザーが横ばいに見えるが課題は？

- ▶ WAU(Weekly Active User)は目標とする1,000万のおよそ半分500万台で推移しており、難しい動画配信ビジネスの領域で、目標の半分を達成したという認識だ。
- ▶ 開局3年目に入り、よりコンテンツ強化を図っていく。

定量目標関連

Q：経営計画の定量目標220億円をどのように達成するのか？

- ▶ 17年度の連結経常利益は220億円を達成したが、18年度の経常利益予想は175億円。
- ▶ 放送事業を中心に、インターネット、メディアシティ、戦略投資など総合的な成長によって連結経常利益220億円を着実に達成していきたい。

株主還元関連

Q：2017年度に特別配当をおこなう背景は？配当性向などを考慮しているのか？

- 配当性向について、具体的な目標は掲げていない。
- 配当の基本方針に基づき、17年度の連結業績（連結売上高 3,000 億円突破、連結経常利益 220 億円）に鑑みて特別配当をおこなうことを決定した。

Q：最近自社株買いをおこなっていないが、何かハードルはあるのか？

- 特段ない。今後の株主還元の方法については、財務状況や株価水準などを見極めつつ、適切に判断していく。

その他

Q：電波利用料について、値上げとなる可能性はあるのか？

- 具体的なことは、まだ何も決まっていない。

Q：政策保有株式について、今後の保有方針に変化はあるか？

- 政策保有株式については、事業上の重要なパートナーの株式が大半だ。それ以外については、保有意義の確認・売却などを適宜おこなっている。

以上